

表 シカゴ連銀経済報告(2024年4月17日公表)

項目	動向	関係者報告・背景
雇用と賃金	雇用は控えめに(modestly)増加 賃金は緩やかに(moderately)上昇	関係者からは、労働市場の状況は引き続き冷え込んでいるとの指摘がある一方、求人広告1件当たりの応募者数が増加し、応募者の質が向上しているとの指摘もあった。
物価	緩やかに(moderately)上昇	関係者は今後1年間も同様の上昇率を予想する。生産者物価は緩やかに上昇した。非労働投入コストは引き続き上昇し、関係者は原材料とエネルギー価格の上昇を指摘した。輸送費は総じて上昇した。地上運賃は値下がりしたが、メリーランド州ボルティモアの橋の崩落事故後、海上運賃がいくらか値上げされたという報告もあった。
個人消費	わずかに(slightly)増加	自動車以外では、非必需品である商品への支出は減少したが、ディスカウントストアや会員制クラブでの支出は増加した。レジャーと接客業は減少し、特にホテル、観光地、航空会社で減少した。自動車販売台数はここ何週間増加し、中古車市場よりも新車と小型トラックの伸びが大きかった。消費者の購買意欲は、より手頃な価格のモデル、特にコンパクトおよびサブコンパクトのクロスオーバーやスポーツ用多目的車(SUV)に向けられた。
企業支出	わずかに(slightly)増加	トラック輸送サービスの需要はわずかに減少し、陸路の運賃を押し下げた。消費財の在庫はやや増加した。自動車ディーラー関係者は、新車在庫は望ましい水準を上回ったが、中古車在庫は水準を下回った。製造業の在庫は適正水準をわずかに上回った。
建設と不動産	ほぼ変化はなし(little changed)	住宅建設の需要は横ばいだった。住宅用不動産の需要は、全体としてやや増加し、手ごろな小規模住宅と高級住宅に伸びが集中した。不動産業関係者は引き続き、値ごろ感が購入希望者の最大の関心事であると指摘した。非住宅建設は、建築コストや融資コストが高騰しているにもかかわらず、特に医療施設や小売店の改装など、一部のプロジェクトが依然として順調に進んでいるため、わずかに増加した。
製造業	全体的に横ばい(flat)	機械販売台数は控えめに減少し、関係者は農業機械の需要の鈍化を指摘した。鉄鋼需要は横ばいであった。加工金属も堅調で、防衛関連での需要の増加が航空宇宙関連での需要の減少で相殺された。
金融	変化はなし(unchanged)	債券市場の資産価値はわずかに上昇、株式市場では控えめに上昇、ボラティリティ(値動きの大きさの度合い)は低下した。企業融資の金利はわずかに上昇し、条件はやや厳しくなった。消費者金融需要は総じて減少し、ある関係者は自動車ローン需要の減速を指摘した。一方、クレジットカードの利用が増加しているとの報告もあった。消費者金融の金利はわずかに上昇し、条件はやや引き締め、質は低下した。
農業	2024年の農家所得の見込みは2023年を下回る	小麦の価格は総じて下落した。卵の価格は下落し、ほとんどの乳製品価格は下落、豚の価格は上昇した。報告期間中の終盤にかけて鳥インフルエンザが牛に感染したとの報道があり、牛肉需要が弱まるとの懸念が高まったため牛の価格は一時的に下落したものの、結果的には上昇した。
地域社会の状況	経済活動には変化が見られなかった (little changed)	地域開発金融機関を含む中小企業向けサービス機関は、融資需要の増加を指摘した。関係者は、顧客にとっては引き続き労働者の確保が成長の足かせになっていると指摘した。社会福祉団体、慈善団体、自治体のリーダーは、パンデミック関連の連邦政府財政支援の終了により、州政府および地方政府の予算不足が間もなく生じると指摘した。低所得者層にとっては、物価水準、特に住宅費の高騰が依然として家計の課題となっている。手ごろな価格の住宅供給を増やす取り組みは、依然として資材や人件費の高騰の問題に直面している。

(出所)シカゴ連銀経済報告を基にジェトロ作成